



今年の北海道遠征は小樽でした

小樽 雷電海岸2ルンゼIC

吉澤

【日時】 2015年1月30日(金)～2月2日(月)

【メンバー】 L田邊、福永、野口、吉澤、寺内

去年の北海道遠征は網走の能取岬。今年は小樽の雷電海岸へ行ってきました。

田邊さん、福永さん、寺内君は1月30日(金)に有休を取得したので朝一で北海道へ向かい、野口さんと自分は夕方に北海道へ入りホテルで合流した。小樽の回転寿司で初日の成果を聞くと、登る予定の定山柱は氷結状態が悪く、下水管から流れ出た水が凍っているように見えたので登らず、美笛の滝へ向かおうとしたが、色々あって辿り着けなかったとのことだった。その代わり、ラーメンと氷濤祭りは楽しかったとのことだった。

翌日、目的である滝に登るべく雷電海岸へ向けて出発。雷電トンネルを抜けた駐車場に到着すると、トマのスキーパーティーが出迎えてくれた。こんな北の大地でアイスクライミングとスキーパーティーが偶然にも同じ日程で近場の山に入るのは珍しいとのことで、雷電海岸の1～4ルンゼを背景に記念撮影。振り返れば4本の滝がそびえ立っている。スキーパーティーからは「良くあんなところ登る気になるね」とポツリ。冷静になってこれから登る滝を眺めると、確かに普通の生活を送っていれば、あんな凍った滝に登ろうなんて気にはまずならないだろう。自分達はどこで道をそれたのか……。でも、登る快樂を知ってしまったのだから仕方ない。ビビリながらもこれから滝に登るのが楽しみだ。



早速準備をして滝の取り付きまで歩く。トレースがあるので約10分で到着した。



今回自分達が登るのは2ルンゼだ。雷電海岸の中でも簡単な部類の1ルンゼは氷結が悪く明らかに細いのでパス。3ルンゼは中間部分がハンクしているようで、こちらもパス。残る2ルンゼと4ルンゼは登れそうだが、初日なので2ルンゼに登ることに決定し、翌日4ルンゼに登ることにした。駐車場で一緒になった別パーティーは4ルンゼに登るとのことで先に出発していった。

さて、取り付きに到着して滝を見上げると、遠目で見ていたより立っていない。これなら問題なくリードできる気がしてきたので一安心。ロープを結んで早速登攀開始だ。



まずは自分がリード。見た目通り緩傾斜なのでアックステンションをすることなくビレイポイントまで到着することができた。適当な場所にスクリューを3本打ち込み、ハンギングビレイで後続を引き上げる。福永さん、野口さん、寺内君、田邊さんの順で、皆問題なく登ってきた。次のリードは少々揉めた結果、福永さんをお願いする。確実な登りでロープが伸びて行くが、思っていた以上に距離があり、スクリューが足りなくなる可能性が出て来たので途中でピッチをきってもらった。吉澤、野口さん、寺内君、田邊さんの順で2P目もスイスイ登る。と簡単に書いているが、初めてのハンギングビレイで場所の確保が難しく、おまけに5人パーティーの大所帯なのでビレイポイントは混み合い、ザイルワークもモタモタして時間がかかる。まだまだ覚えることは多いと実感しながら滝にぶら下がっていました。



2P目も登りきり3P目は自分がリード。最後までアックステンションすること無く、無事完登。灌木でビレイをして後続を引き上げていると駐車場に大勢の人影が見えた。色とりどりの服装に見覚えのある車が停まっていたので、スキーパーティーだとすぐに分かり大きく手を振ったのが見えていただろうか？全員登りきった時には流石にペンションへ帰ってしまったようで姿は見えなかった。自分達も早く帰りたいがこれから懸垂下降が待っている。時間は16時を回っていたので早くしないと日が暮れる。懸垂2回で下まで到着し、駐車場に着いた頃にはすっかり暗くなってしまった。

時間はかかったが、今までで一番大きな滝をリードできて大満足。帰り際には朝ドラの影響で活気に湧く余市に立寄りウィスキーとつまみを購入。野口さん推薦の居酒屋で打ち上げをして、ホテルに帰ってから2次会で盛り上がった。

翌日、本来なら4ルンゼを登る予定だったが、北海道に近づいて来ている大型低気圧の影響で予定している便が欠航する可能性が出て来たため、自分と福永さんは昼便で帰ることになってしまった。さて、残った3人は翌日の便で帰る予定なので1日時間はあったのだが、天気が悪くなったので観光に転進したとのこと。・・・羨ましい。今度来るときは4ルンゼを登ろうと、飛行機に揺られながら心に誓い、帰路に着きました。



【グレード】IV：1P目（30m）、2P目（10m）、3P目（50m）

【行程】1/31 雷電海岸駐車場(9:30)～取付(9:40/9:55)～落口(16:10)～駐車場(17:30)

【地図】雷電岬